

中世都市「鎌倉」に入る

- 講師 = ^{カワノシンチロウ}河野真知郎 (本学文学部教授)
^{イトウマサヨシ}伊藤正義 (本学文学部教授) 他
- 時間 = 土曜日 10:30 ~ 12:00 (講義)
 日曜日 10:00 ~ 16:00 (フィールドワーク)

スケジュール

- ① 9月26日 (土) 鎌倉大蔵と三浦大矢部
 本学文学部教授 ^{イトウマサヨシ}伊藤正義
- ② 9月27日 (日) フィールドワーク I
 三浦氏の故地・大矢部
 本学文学部教授 ^{イトウマサヨシ}伊藤正義
- ③ 10月 3日 (土) 鎌倉の出入口「切通し」を考える
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ④ 10月 4日 (日) フィールドワーク II
 「鎌倉七口」探索 (1)
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ⑤ 10月11日 (日) フィールドワーク III
 「鎌倉七口」探索 (2)
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ⑥ 10月17日 (土) 禅宗鎌倉に入るー栄西禅師ー
 本学文学部准教授 ^{シモムロカクドウ}下室覚道
- ⑦ 11月 7日 (土) 鎌倉の求心力ー鎌倉に集まる文物ー
 本学文学部准教授 ^{シュウタイヒデアキ}宗梶秀明
- ⑧ 11月14日 (土) 鎌倉への旅ー遺跡からさぐるー
 本学文学部教授 ^{カワノシンチロウ}河野真知郎

受講定員 = 30 人
 受講料 = 15,000 円
 (拝観料・保険料込)

■ テキスト：プリントを配付します。

講座内容

中世都市「鎌倉」は、東国の武士たちが打ち樹てた「武士の都」でした。そこは鎌倉時代に首都であっただけでなく、その後、江戸時代にも古都として尊重されていました。現在、世界遺産登録を目指しています。今も町の地下には往時の遺構・遺物が埋もれています。書き記された歴史と、掘り出された物から、古都の実際を描き出し、さらに現地で実感する、オムニバス形式の講座です。

今年度は鎌倉市内だけでなく、外の世界とのかわりを新たな視点に加えました。

※第2・4・5回目のフィールドワークは、現地集合・現地解散となります。各回とも高低差のある山道を歩きますので、歩きやすい靴、服装(雨天の場合は雨具)をご用意ください。また、昼食は各自でご用意ください。詳しくは、講座の中でご説明します。

鶴見大学文学部文化財学科：文化財学は、歴史学・考古学・美術工芸学・分析保存科学など、幅広い分野にまたがるものです。本学文化財学科は、それらの文化財について「実物・実地・実体験主義」で総合的に学び、日本の伝統を受け継ぎ将来に伝えていくことを目指す学科です。

鎌倉市世界遺産登録に向けて：鎌倉の歴史的遺産は平成4年に世界遺産の暫定リストに掲載され、以後、鎌倉市では、学術調査や「鎌倉市歴史遺産検討委員会」による検討などを行い、世界遺産登録に向けた基本的考え方が平成16年5月「武家の古都・鎌倉」としてまとめられました。平成18年7月には「鎌倉世界遺産登録推進協議会」が設立されるなど、市をあげた世界遺産登録推進事業が進められています。